人間とキツネの適切な距離感

３年　　Ｂ組　１１番　小貫　愛果

１．はじめに

自分の住む町で見かけるキツネの数が増え、人間との距離が近づきすぎてしまっている理由などを知りたくてこのテーマを選んだ。キツネと人間がお互いに被害を与えず、共生できるような方法を見つけることを目指した。様々な文献を調査し、得られた情報を整理しながら、考察した。

２．現状と課題

このテーマの抱える問題点は、キツネと人間が生活する距離感が近くなってお互いに被害を被ってしまっている点だ。距離が近づきすぎたせいでキツネが車に轢かれてしまっていたり、人間が食害やエキノコックスなどの感染症にかかってしまう可能性があるからだ。キツネの住む場所が山から人間の生活圏に移り変わってきた理由を突き止め、人間との距離を適切な距離に戻したい。

３．先行研究

害獣の対策を研究している機関では、キツネの行動や特徴などをまとめ、キツネからの被害を減らすための対策をしたり、駆除の方法を紹介していた。スイスの公共放送協会の国際部では、キツネが住み着いてしまった居住区域に住む住人と専門家の餌付けや駆除の問題についての会話を紹介していた。

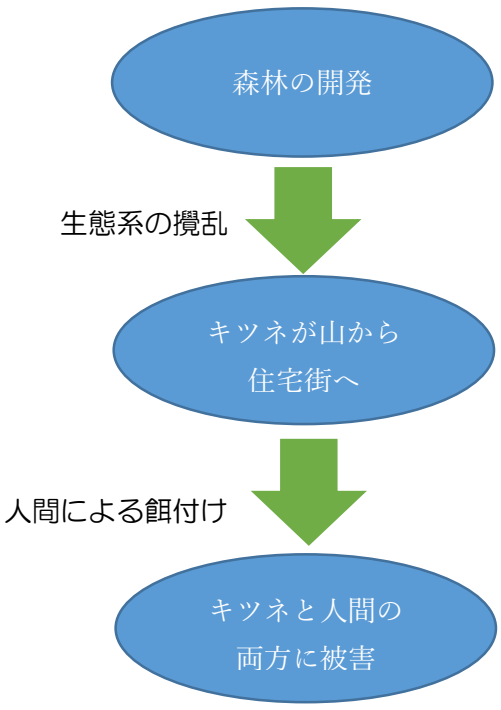
４．リサーチクエッション・仮説

- キツネが人間の生活圏に住み着くようになった理由
- 人間がキツネに餌付けをしてしまう理由
- キツネと人間のお互いの被害

５．研究方法

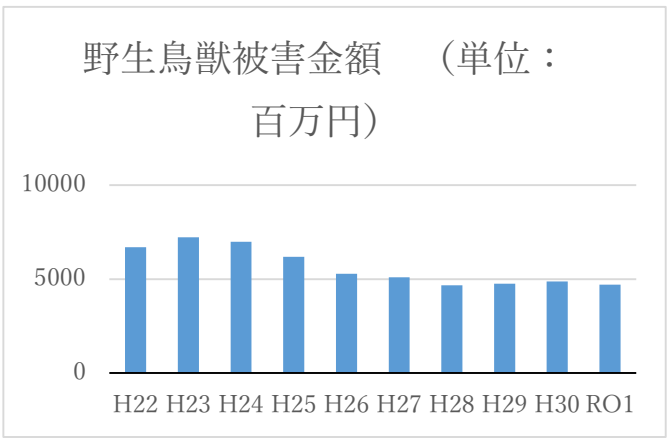
- 実体験や先行研究をもとに現状をまとめる。
- キツネが人間に与えている被害やその原因についてまとめる。
- 人間がキツネに与えている被害やその原因についてまとめる。
- まとめた内容からお互いの被害を作っている原因に対しての対策を考える。

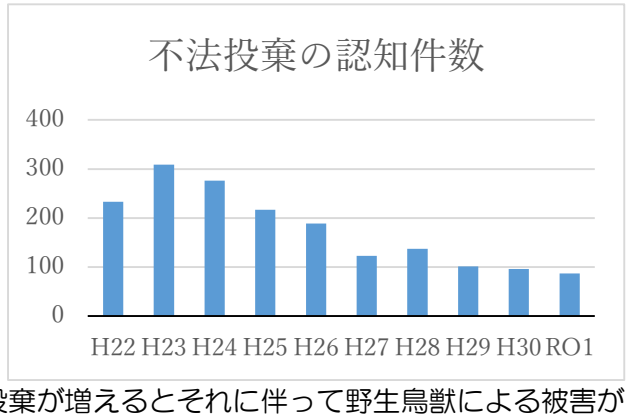
６．研究の成果・分析



人間の餌付けが起こす被害
- エサを探す能力の低下
- 体に合わない餌による健康被害（※疥癬など）
- 人間への警戒心の薄れ、行動の変化

キツネによる人間への被害
- 食害
- エキノコックス





キツネの食生活に人間の関与は不要

７．考察

- キツネが山から下りてくる理由は森林開発や餌付けなど人間によるキツネへの干渉
- 人間によるキツネへの餌付けはデメリットしか生まない
- ごみの不法投棄は間接的な餌づけ

８．まとめ

グラフから、ごみの不法投棄が増えるとそれに伴って野生鳥獣による被害が増えることが分かった。調査したことと合わせて考えると、キツネと人間の生活圏の距離が近づいた背景には、人間による森林開発とごみの不法投棄などの間接的な餌付けがあることが分かった。私は餌付けをされなくてもキツネが自らの力で生きていけることを、人間はもっと知るべきだと思った。私がこの問題を解決するためにできることは、キツネに餌付けをしないのはもちろんのこと、周りの人にこの調査で得られたことを生かして警告する、などだと思う。動物とかかわる仕事に就いたとき、この調査で得た知識を生かして動物の健康を保てるようにしたいと感じた。

９．参考文献、協力者等

いま問われる野生動物と人間の共生「wbsj.org」
エキノコックスだけじゃなかった！～キツネへの「餌付け」がもたらす弊害とは「costep.open-ed.hokudai.ac.jp」
自然環境と野生動物をめぐる諸問題「birdimages.jp」
事故と感染症。野生動物とヒト。両方守るために覚えておきたいただーつの事「news.goo.ne.jp」
野生動物を餌付けしてはいけない理由「lifehacker.jp」
野生動物が人里に出てくるようになったのはなぜ？「yumenavi.info」
野生動物への餌付けと問題点について「sapporo-nature-times-.com」
庭に潜む、危険なキツネの感染症「swissinfo.ch」
キタキツネを追いかけて「natgeo.nikkeibp.co.jp」
キツネとは？「bungalow8sydney.com」
安易な餌付けをやめましょう「pref.hokkaido.lg.jp」